

突然起こるアナフィラキシー あなたならどうする?! ～アレルギーから子供を守る～



(監修)川崎幸クリニック 看護師/小児アレルギーエドゥケーター 望月 勢津子

生徒にアレルギー症状がでた! >>>



『食物アレルギー緊急時対応マニュアル』を用いて、緊急性の対応を行ってみましょう。

※『食物アレルギー緊急時対応マニュアル』は『東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課』発行、各都道府県や市の教育委員会で一部改定されたものがそれぞれ発行されています。

参考:東京都福祉保健局 東京都アレルギー情報navi./食物アレルギー緊急時対応マニュアル

- ① **まずは大声で応援を呼びましょう!**
大声で人を呼んだり、近くの生徒に他の教職員(大人)をできるだけたくさん呼ぶように伝えましょう。
- ② **人が集まったら、第一発見者の教職員を中心に役割分担を行い、それぞれ指示に従い、行動しましょう**

<役割分担の例>

教職員A **第1発見者がリーダー、役割を指示**

教職員B AED・エピペン・内服薬など、**緊急時に必要なものをもって来る**

教職員C マニュアルを持って来る・記録をつける

教職員D エピペンの介助、救急車を呼ぶ

教職員E エピペンの介助、保護者へ連絡する

※対応する人数によっては役割が重複する場合があります。臨機応変に対応していきましょう!

- ③ **緊急時対応マニュアルに沿って緊急性の判断をしましょう**
緊急時対応マニュアルに沿って判断を行います。マニュアルFページ『症状チェックシート』を開き、生徒の症状を記録・チェックしていきます。
① 観察を開始した時刻を記入
② 症状のチェックを行う

⇒緊急性が非常に高い場合

- ④ **ただちにエピペン®を使用しましょう!**



エピペン®を持っていた場合

マニュアルCページ『エピペン®の使い方』を参考に、**エピペン®を使用**します。エピペン®を使用した時刻も忘れずに記録しましょう。



エピペン®を持っていない場合

その場で安静を保つ体位にしましょう。立たせたり、歩かせたりしないこと!

- ⑤ **可能なら内服薬を飲ませましょう!**



内服薬を持っていた場合

医師の処方に従い、内服薬を使用します。内服薬を使用した時刻も忘れずに記載しましょう。

- ⑥ **ただちに救急要請をしましょう!**
緊急性が非常に高い場合、**エピペン®を使用した、しないにかかわらず、すぐに救急要請**を行きましょう。マニュアルDページ『救急要請のポイント』を参考に救急要請を行います。

- ⑦ **その場で安静を保つ体位にし、救急隊を待ちます。**

- ⑧ **反応がなく、呼吸がなければ、マニュアルEページ『心肺蘇生とAEDの手順』を参考に、迷わず心肺蘇生を!**

いざというとき、戸惑っている時間はありません。**強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫**を行い、救急隊に引き継ぐまで、または普段通りの呼吸が認められるまで続けましょう。

緊急性がなかったから、と安心してはいけません。症状のパターンは人によって異なり、いつも同じとは限りません。初めは症状が軽くても、症状が進んで重症になることもあります。**アレルギー症状を疑ったら、繰り返し観察をすることが大切です。**